

円高・円安

外国為替市場で円の価値が上がることを『円高』、下がることを『円安』といいます。ここでは、円／カナダ・ドルを例にご説明します。

◎1カナダ・ドル=80円 ⇒ 100円、これは円高？円安？

1本1カナダ・ドルのペンがあったとします。これまで80円でペンを買っていたのに100円払う必要になったということは、円の価値が下がったということです。つまり、これは円安となります。逆に、カナダ・ドルの価値は上がったということです。

【図1】円／カナダ・ドルの推移

(1カナダ・ドル=〇円)

(2012年1月2日～2013年5月17日)

1カナダ・ドルを
買うために多くの
円が必要↑
(円安)↓
(円高)少ない
円で足りる

図1は2012年以降の円／カナダ・ドルの推移です。

この期間、1カナダ・ドルの価値は上昇しました(=円安)。

「円高・円安」という表現は円を中心とした相場の見方ですが、外国為替市場では1米ドル=100円、1豪ドル=1米ドル等、対米ドルで取引されることが一般的です。

円／カナダ・ドルのような米ドル以外の通貨の組み合わせは、一般に各通貨の対米ドル相場をもとにして取引レートが決まります。このように計算される為替レートを『クロスレート』といいます。

◎クロスレートとは

【図2】円／米ドルとカナダ・ドル／米ドルの推移

(1米ドル=〇円)

(1米ドル=〇カナダ・ドル)

(2012年1月2日～2013年5月17日)

1米ドルを
買うために
多くの
円が必要↑
(円安)↓
(円高)少ない
円で足りる1米ドルを
買うために
少ないカナダ・
ドルで足りる↑
(カナダ・
ドル高)↓
(カナダ・
ドル安)多くのカナダ・
ドルが必要

円／カナダ・ドルは、円とカナダ・ドルが対米ドルでどれだけ変化したかで決まります。2012年以降、カナダ・ドルは米ドルに対しほぼ横ばいでした(図2のオレンジ線)が、円は米ドルに対し大幅な円安になりました(図2の青線)。円／カナダ・ドルは、図2のオレンジ線と青線の値動きを合成したのになります。その結果、円はカナダ・ドルに対しても円安になりました(図1)。円／カナダ・ドルの動きを図2のように分解することで、この期間の値動きは主に円安／米ドル高によるものと分かります。このように、米ドルを介した相対的な強さ・弱さで実際のレートが決まることを意識することも重要です。

(出所)ブルームバーグ

投資信託の留意点

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は**大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております**。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

お客さまにご負担いただく費用

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

直接的にご負担いただく費用

| | |
|---------|-------------------------------|
| 購入時手数料 | 料率の上限は、 3.15% (税込) です。 |
| 換金手数料 | 料率の上限は、 1.26% (税込) です。 |
| 信託財産留保額 | 料率の上限は、 0.5% です。 |

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

| | |
|--------------|--|
| 運用管理費用（信託報酬） | 費用の料率の上限は、 年2.121% (税込) です。 |
| その他の費用・手数料 | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。（その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。） |

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ ファンドにより異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※ 詳細につきましては、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドのリスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申し込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- ◆ 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- ◆ 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。